



宇津木台 森遊会 実施報告

「第9回定例活動」

No.2025-09

実施日	2025 年 12 月 28 (日) 10:00~12:30	天候：晴れ	記録：金森
場 所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：4名 中野、中村、松本、金森		

実施内容

活動15年目の第9回目。朝方はこの冬一番の冷え込みで氷点下になった、日陰には霜が見られる。

冬のこの時期は年に1度の小川の巡回を行う。道路に面した最下流から入り4人は分散して川の兩岸の笹やアオキを伐っていく。水回りを明るくして動植物を増やすこととゴミの撤去を目的としている。

斜面の上からの倒木で水が堰き止められる現象が目立ってきた。斜面のさらに上には大きなコナラが密集して低木や地表に陽があたらないことで枯れて倒れてくる。地表には笹しか生えない。大きなコナラも細長くヒョロヒョロとしており立ち枯れたものが目立つ。まずは立ち枯れたコナラを倒れる前に伐採する必要がある。伐採して陽があたると笹が繁茂するので刈る必要がある。

小川の少し明るいエリアではここ1年間で笹やアオキが増えていたが綺麗に伐採した。明るくすればまた笹が生えるというたちごっこだがその他の植物が根付くまで地道に続けるしかない。

予定の12時を少しオーバーしたが最上流の岩場に到着、道具を手入れして解散した。

次回は筍のシーズンを前に竹林を整備する。



冬晴れの雑木林



倒木が綺麗に処理されている



霜で覆われた草



日陰は霜だらけ



小川を下流から入る



倒木を片づける



4人で分散しながら小川周辺の笹やアオキを伐っていく



刈った笹はその場に積んでおく



年1回この時期に整備しているので藪にはなっておらずゴミもない



刈る前



刈った笹はその場に積んでおく



小川からさらに上の斜面にも範囲を広げて笹や雑木を伐って明るくすることで動植物を呼び込む



終点の岩場に到着

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は小1個を指定の場所に置く。